



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

エジプト次期大統領選挙：立候補の届出が終了

主席研究員 中島 勇

2012年4月8日、エジプトの次期大統領選挙の立候補受付が終了した。立候補したのは23人だった。選挙管理委員会は、届出の審査などを行い、確定した候補者を発表する。選挙運動開始は4月末の予定。投票日は、5月23～24日。過半数の票を獲得した候補者がいない場合は、6月16～17日に決戦投票が行われる。

大統領選挙の実施時期については、昨年秋頃には、2012年末か2013年はじめにずれこむとの観測が強まった。しかし、2012年1月15日、軍最高会議は、大統領選挙を6月に実施するとして、立候補の受付を4月半ばに開始することを表明し、1月末に立候補要件を発表した。2月末、大統領選挙管理委員会が、選挙の日程を発表している。

立候補届出では、当初、自分たちの候補者を出さない立場を表明していたムスリム同胞団は、3月31日に副指導者ハイラット・エル・シャテールを擁立することを決めた。ムバーラク時代の諜報長官で、ムバーラク前大統領が辞任する直前に副大統領に指名されたオマル・スレイマーンは、当初立候補しないとされていたが、締切直前の4月6日に立候補を表明した。

憲法草案準備委員会が組織されたのは3月中旬であった。同委員会のメンバーを辞退する委員もあり、新憲法の議論はまだ本格化していない。6月に大統領選挙が実施された場合、大統領権限が新憲法で規定される前に、次期大統領が決まる可能性が大きい。